

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に「レ点」を付すこと。

(土木・検査員用)

評価項目 細 別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形 及び出来ば え  II. 品質	道路改良工 事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）							
		該当	評価	「評価対象項目」 【土工】 1. 雨水による崩壊が起こらないように、法頭や法尻の排水路、法面のシートかけ等の排水対策を実施していることが確認できる。 2. 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 3. 掘削を行うにあたり、床付面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 4. 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 5. 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 6. 植生工を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 7. 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 8. 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 9. CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 10. 法面に有害な亀裂がない。 11. 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 12. その他（理由： ）			評価	49. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	評価
				【法面工共通】 13. 施工基面を平滑に仕上っていることが確認できる。（特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係） 14. 施工に際して、基面の安定や吹き付け材の付着に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 15. その他（理由： ）					
				【種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係】 16. 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 17. ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 18. ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 19. 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 20. 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 21. 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 22. その他（理由： ）					
				【コンクリート又はモルタル吹付け工関係】 23. 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 24. 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 25. 金網が破損を生じていないことが確認できる。 26. 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 27. 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 28. 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。					

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	29. 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	30. 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	31. 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	32. その他（理由： _____ ）
		【現場打抜き関係（プレキャスト法打抜き含む）】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	33. 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	34. アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	35. 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	36. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	37. 枠内に空隙がないことが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	38. 層間にはく離がないことが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	39. 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	40. その他（理由： _____ ）
		【路床・路盤工関係】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	41. 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	42. 路床及び路盤工のプルーフローリングを行っていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	43. 路床及び路盤工（凍上抑制層を含む）の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	44. 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	45. 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	46. 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	47. 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	48. その他（理由： _____ ）
		「品質関係の試験結果のばらつき」
<input type="checkbox"/>		51. ばらつきが50%以内
<input type="checkbox"/>		52. ばらつきが80%以内
<input type="checkbox"/>		53. ばらつきが80%を超える
評価率		
評 定		※評価対象となる項目が2項目以下の場合はc評価とする。
点 数		

「判断基準」

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評 価 率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。



工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に「レ点」を付すこと。

(土木・検査員用)

評価項目 細 別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形 及び出来ば え  II. 品質	基礎工事 (地盤改良 等を含む)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照)								
		該当	評価	「評価対象項目」 【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒・場所打・深礎等)】			評価	評価		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。			<input type="checkbox"/>	19. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	20. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 既製杭の打止め管理の方法及び場所打ち杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 水平度、鉛直度等が設計図書を満足していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. ライナープレートの組み立てにあたり、編心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. その他(理由: )						
				【地盤改良関係】						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16. 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17. 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18. その他(理由: )						
				「品質関係の試験結果のばらつき」						
		<input type="checkbox"/>		21. ばらつきが50%以内						
<input type="checkbox"/>		22. ばらつきが80%以内								
<input type="checkbox"/>		23. ばらつきが80%を超える								
	評価率									
	評 定	※評価対象となる項目が2項目以下の場合はc評価とする。								
	点 数									

  

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評 価 率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表

**【記入方法】 該当する項目に「レ点」を付すこと。**

(土木・検査員用)

評価項目 細 別	工種	a		b	c	d	
3. 出来形 及び出来ば え  Ⅲ. 出来ば え	基礎工事（地 盤改良等を含 む）			優れている。	やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている
		該当	評価	「評価対象項目」			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 土工関係の仕上げが良い。			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 通りが良い。			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 端部及び天端の仕上げが良い。			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。			
	評価						
	点数						

  

該当項目が3～4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c
2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d
1項目以上評価・・・c	
評価項目なし・・・d	





工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に「レ点」を付すこと。

(土木・検査員用)

評価項目 細 別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形 及び出来ば え  II. 品質	塗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）								
		該当	評価	「評価対象項目」				評価	評価	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。				11. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	12. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. ケレンを入念に実施していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 塗り残し、ながれ、しわ等がなく塗装されていることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. その他（理由： _____）						
				「品質関係の試験結果のばらつき」						
		<input type="checkbox"/>		13. ばらつきが50%以内						
<input type="checkbox"/>		14. ばらつきが80%以内								
<input type="checkbox"/>		15. ばらつきが80%を超える								
	評価率									
	評 定	※評価対象となる項目が2項目以下の場合はc評価とする。								
	点 数									

  

評価率	90%以上	ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
	a	a'	b	
	a'	b	b'	
	b	b'	c	
	b'	c	c	

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。



工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に「レ点」を付すこと。

(土木・検査員用)

評価項目 細 別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e			
3. 出来形 及び出来ば え  II. 品質	トンネル工 事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）									
		該当	評価	「評価対象項目」 1. コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質（強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 2. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 3. 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 4. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 5. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6. 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7. 設計図書に定められた岩区分（支保工パターン含む）の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 8. 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9. 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 10. 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 11. 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。 12. 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。 13. ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 14. 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 15. 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継目が同一線上で施工していないことが確認できる。 16. 有害なクラックがない。 17. その他（理由： _____）				評価	18. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	評価	19. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
				「品質関係の試験結果のばらつき」							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20. ばらつきが50%以内									
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	21. ばらつきが80%以内									
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	22. ばらつきが80%を超える									
		評価率									
		評 定	※評価対象となる項目が2項目以下の場合はc評価とする。								
		点 数									

  

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評 価 率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に「レ点」を付すこと。

(土木・検査員用)

評価項目 細 別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形 及び出来ば え  II. 品質	植栽工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）								
		該当	評価	「評価対象項目」				評価	評価	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 活着が促されるよう管理していることが確認できる。				10. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	11. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 樹木などに損傷、はちくずれ等がないよう保護養生を行っていることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. その他（理由： _____）						
				「品質関係の試験結果のばらつき」						
<input type="checkbox"/>		12. ばらつきが50%以内								
<input type="checkbox"/>		13. ばらつきが80%以内								
<input type="checkbox"/>		14. ばらつきが80%を超える								
	評価率									
	評 定	※評価対象となる項目が2項目以下の場合はc評価とする。								
	点 数									

  

	ばらつきで判断可能		
	50%以内	80%以内	80%を超える
90%以上	a	a'	b
75%以上90%未満	a'	b	b'
60%以上75%未満	b	b'	c
60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表

**【記入方法】 該当する項目に「レ点」を付すこと。**

(土木・検査員用)

評価項目 細 別	工種	a		b	c	d	
3. 出来形 及び出来ば え  Ⅲ. 出来ば え	植栽工事			優れている。	やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている
		該当	評価	「評価対象項目」			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 樹木の活着状況が良い。			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 支柱の取り付けが堅固である。			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 全体的な美観が良い。			
		評価					
点数							

  

該当項目が3～4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c
2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d
1項目以上評価・・・c	
評価項目なし・・・d	

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に「レ点」を付すこと。

(土木・検査員用)

評価項目 細 別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e			
3. 出来形 及び出来ば え  II. 品質	公園工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）									
		該当	評価	「評価対象項目」				評価	評価		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。				<input type="checkbox"/>	7. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	8. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 材料の品質及び形状が設計図書の条件を満足していることが確認できる。							
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 部品の品質及び形状が設計図書の条件を満足していることが確認できる。							
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 遊戯施設等の機能と安全性が設計図書の条件を満足していることが確認できる。							
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 植物、公園資材等による修景効果向上についての配慮が事前に十分検討され良好な施工がされていることが確認できる。							
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. その他（理由： _____）							
				「品質関係の試験結果のばらつき」							
		<input type="checkbox"/>		9. ばらつきが50%以内							
		<input type="checkbox"/>		10. ばらつきが80%以内							
		<input type="checkbox"/>		11. ばらつきが80%を超える							
				評価率							
				評 定	※評価対象となる項目が2項目以下の場合はc評価とする。						
		点 数									

  

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評 価 率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

















